

令和4年度 南安曇農業高等学校 学校評価表(自己評価)							
学校教育目標							
勉学・健康・品位の向上を図り、健康で教養豊かな科学的農業人を育てる。							
重点目標(中長期)		達成状況	成果	次年度への課題			
食料・環境・生命に関する教育を通して豊かな人間性と生きる力を育み、地域産業や地域文化の継承を担う人材を育てる。また、地域と連携して開かれた学校づくりを進め、安全で安心して学べる学校づくりに努める。		4.0 A	・卒業論文の発表を通して、地域と連携する学びの成果が感じられた。 ・学びを活かした進路分野に進学および就職した	・新型コロナ終息後の地域連携をどこまで行うか。 ・更に生徒の個性を理解し、それぞれの適性にあった指導を行う。			
本年度の重点目標							
番号	項目	内容	観点(内容の詳細は別紙学校教育目標を参照)	達成状況	成果	次年度への課題	
1	地域連携	開かれた学校づくり	① 各教科の授業や農業クラブの研究部活動での地域連携の精選と充実を図る。	3.6	3.5 B	・コロナ禍で地域と連携した活動が中止や縮小になった中、文化祭などで学校を開放していく準備を整えることができた。 ・造園業協会と連携し造園施工技術者試験の合格率が100%であった。 ・フードコースが取組む安曇野市商品開発プロジェクトは市の関係者、企業の方々とも連携して良い取組みになっている。	・学びとしての連携はさらに充実させる一方で、今後のコロナの状況に応じて、オープンキャンパスなど地域開放する場面などをどう作るか。 ・コロナ禍で地域と連携した活動が中止や縮小になっていたため、できることから活動を再開していく。
			② 松本大学との連携によるマーケティング教育を農業教育の中へ位置付ける。	3.3			
			③ 安曇野市との官学連携において、具体的な内容の検討と実施を図る。	3.7			
			④ 学校WEBページによる地域や中学向けの情報発信を有効に活用する。	3.3			
			⑤ 南農の発展に向けて、地域人材や同窓会との連携を図る。	3.8			
2	生徒支援	安心・安全な学校	① よりよい生徒理解のため、情報を共有するための組織作りと職員会での情報共有を行う。	3.7	3.7 A	・善悪について、校則の順守、社会通念上の良識について授業を通じて指導できた。 ・特性や疾患をもった生徒に対して個別に対応できた。 ・生徒が安心、安全に活動できた1年であった。 ・アセスの実施や、キャリアカウンセリングを通して、生徒理解を進めることができた。	・犯罪の多様化、成人年齢の引き下げに伴い大きく変容する社会でしっかりと生きていけるよう指導したい。 ・教員間での情報の共有。 ・生徒の交通事故が数件あったので、次年度は事故0を目指して、全職員で生徒に指導を行っていく。 ・生徒主体の活動にどのようにつながっていくか。 ・予防的生徒指導を心がけるとともに、生徒たちに問題が隠れている可能性もあるため対話を重視する。
			② いじめや生徒間トラブル、問題行動の未然防止につとめるとともに、問題の早期発見と解決の指導を行う。	3.7			
			③ 教育相談体制を充実し、生徒・保護者への周知を積極的に行う。	3.7			
			④ 生活アンケートやアセスを実施し生徒の状況を適切に把握する。	3.7			
			⑤ スマートフォンやインターネットへの関わり方について指導し、ネット上でのトラブルやいじめがないように図るとともに、問題を早期発見し拡大しないよう予防教育に努める。	3.6			
			⑥ 生徒会と連携し、携帯電話・スマートフォンの使用について生徒自身が使い方について考える取り組みを行う。	3.3			
			⑦ 様々な行事を通して、クラスや学年での生徒間のコミュニケーション活性化を図る。	3.9			
3	学習指導	学力の向上	① 授業アンケートを生かして授業改善を実施する。多くの生徒が「よい(よく分かる)」「たいへんよい(たいへんよく分かる)」と感じられるように努力する。	4	4.0 A	・鵬の時間の日々の取組み、基礎力診断テストのデータ活用等、継続的に行うことで生徒の力もついてきている。 ・生徒がより主体的に取り組めるよう授業等を工夫するなど、よりコミュニケーションがとれるよう実践した。 ・生徒が自らの将来を真剣に考え努力して進路活動に取り組む姿が多く見られるようになった。	・日々の学習や実習活動の意義を生徒が理解し、自主的な活動ができるように、更に支援を行う。 ・タブレットを授業の中でより一層活用し、ICTの活用を推進する。 ・生徒が受け身になるのではなく、もっと主体的に考える授業の構築をする。 ・資格試験に対する講習会等の支援。
			② 基礎的・基本的な学力の向上のため、各教科にて課題を出し家庭学習の習慣付けのための工夫をする。	3.6			
			③ 課題研究やプロジェクト研究等、探究的な学習への主体的な取り組みを通して、総合的な学力の向上に繋げる。	4.3			
			④ グリーンサイエンス科では、栽培・管理・栽培物の活用に関する基礎的知識・技術を習得させるとともに、交流学習や販売実習等の実践的な体験活動を通じて協働的な学習や言語活動の充実を図り、「コミュニケーション力」「企画力」「指導力」等、総合的な学力の向上を図る。	4.1			
			⑤ 生物工学科では、植物・動物・微生物に関する基礎的知識・技術を習得させるとともに、実験・実習及び研究活動を通して、地域に根ざした「探究的な学び」である「あつみの学」を活用した地域資源を有効に活用する課題解決型学習の展開を図り、総合的な学力の向上を図る。	4.2			
			⑥ 環境クリエイト科では、測量設計・土木施工・造園などの基礎的知識・技術を習得させるとともに、産学官連携の充実を図り、専門的技能(資格取得等)の学習を通して、専門力と創造力を必要とする探究的な学びを実践する等、総合的な学力の向上を図る。	4.2			
4	キャリア教育	キャリア教育の充実	① 就職・進学指導体制の充実を図るための研究、情報収集を続ける。	3.9	3.8 A	・個別最適化された補習の機会を設けることができた。 ・生徒が希望する進路実現をすることができた。 ・キャリア週間の生徒面談や進路ガイダンスを使って、進路に対する意識を高めることができた。 ・充実した進路指導で、特に進学や公務員への就職について成果を残すことができた。	・生徒一人一人が、日々の取り組みの成果が進路につながることを意識づける支援を徹底させる。 ・進路指導支援体制の拡充。 ・入学時からの長期的展望に基づく段階的計画的な進路指導の構築。 ・関係の部・係・学年が連携した進路指導体制の充実。
			② 「キャリアウィーク」が更に有効な取り組みとなるよう内容を検討し実施する。	3.7			
			③ 生徒の多岐にわたる進路希望の実現のため、個別指導の充実を図る。	4			
			④ 資格取得に取り組む学習環境を整え、多くの生徒が合格できるように支援を行う。	4.3			
			⑤ 鵬塾への生徒の参加を促し、それぞれの進路実現に向けた学力の向上を図る。また、1・2年生の積極的な参加を促す。	3.4			
			⑥ 大学進学希望者について、様々な機会を活用し学年・クラス担任と連携して早い時期からの意識づくりを行う。	3.7			

\* 達成状況の評価の基準は S:目標を大幅に上回った A:目標を上回った B:ほぼ目標どおりできた C:目標を下回った

\* 5段階の評価数値による集計で 4.5以上 4.4~3.6 3.5~3 2.9以下 を目安とする

## 令和4年度 長野県南安曇農業高等学校 学校関係者評価

### 1 各評価項目のそれぞれの評価の観点についての評価

(評価は5:達成できた、4:ほぼ達成できた、3:改善の余地がある、2:相当の改善を要す、1:判断できない)

評価項目	評価の観点	評価
重点目標 (中・長期的目標)	食料・環境・生命に関する教育を通して豊かな人間性と生きる力を育み、地域産業や地域文化の継承を担う人材を育てる。また、地域と連携して開かれた学校づくりを進め、安全で安心して学べる学校づくりに努める。	4.6
1 開かれた学校づくり (地域連携)	地域と連携した教育活動および高大連携事業の充実を図るとともに、本校教育活動の地域や保護者への広報活動を充実し開かれた学校づくりを進める。	4.1
2 安全・安心な学校 (生徒指導・生徒支援)	すべての生徒が安心して学習活動に取り組み、学ぶ喜びと充実感を得られるように生徒指導・生徒支援の充実をはかる。	4.6
3 学力の向上 (学習指導)	すべての生徒が『分かった』と感じ、学ぶ喜びと充実感を得られるように授業内容の充実をはかるとともに、専門科では学科・コースごとの特性を生かした授業を追求する。	4.4
4 キャリア教育の充実 (キャリア教育・進路指導)	生徒の将来を見据えた3年間の繋がりのあるキャリア教育を作り上げるとともに、卒業時に希望の進学就職ができるように進路指導の充実を図る。	4.6

### 2 いただいた意見・提言等

地域の課題解決の糸口として、高校生から見て感じたことが発表できるのは、南農高校の強み。先生方には、気迫をもって頑張ってもらいたい。

コロナ禍において生徒と実習を共にできなかったのが残念。来年度は、地域との交流機会が再開されることを楽しみにしている。

教職員の皆さんの熱心なご指導があり、生徒にとって濃厚な三年間だった。

生徒に対する熱心さと真剣なところが、先生と生徒のよい関係を築いていると感じた。成年年齢が20歳から18歳に改正されました。高校生でも選挙権がありますので、選挙について生徒会選挙で学ばれているとは思いますが、国や地方自治体行政について二元代表制など学習する必要があると思います。

生徒の皆さんが、それぞれの専門分野で確実に力を発揮できる高校生活を送っていることがよく分かった。安曇養護学校高等部あづみ野分教室との交流や学びあいができている。

卒業論文要旨集には、学校と生徒の意識と努力が豊富に発揮されている。農業や農業高校をめぐる情勢が厳しい中で、なお一層地元と濃密につながるようにしてほしい。地域連携や高大連携にはまだ踏み込む余地がある。農家や農協等との連携、農業分野への就職先開拓を追求してほしい。

コロナ禍の中で、学校運営は多くの困難があったことと思います。最大限の配慮をもって取り組まれてきたことに敬意を表したい。

学校評価で生徒や保護者の満足度が高く、生徒が安心して学校生活を送り、自発的積極的に学習や地域との連携活動に取り組み、受賞や資格取得で成果を収めていることがうかがえます。